

=====

コロナ禍における沖縄文化芸能の現状調査アンケート

=====

配信について感じていること（配信のメリット・デメリット、現時点での課題、今後の計画など）があれば、何でもお書きください。

●パフォーマー（県内）

※ジャンルについて

- ・琉球古典、民謡、島唄ポップスなど沖縄系の音楽⇒沖縄音楽
- ・ロック、ポップス、ラテン、ジャズ、クラシックなど沖縄系以外の音楽⇒音楽
- ・組踊や琉舞の立方、エイサーなど⇒沖縄芸能

- ・マネタイズが課題。（50代/兼業/音楽）

- ・一時的にという形で配信を受け入れている。メリットは在宅でも見てもらえるという事。しかし、ロックバンドのライブはやはり生音を体感してもらう事を重要視されるので、一般的なパソコンやスマホのスピーカーで得られる視聴方法では、いずれ観客も離れていくように思います。革新的な臨場感のあるオーディオ環境が発明され、普及すれば発展するかもしれませんが、やはり生音にこだわりたい。（40代/別に本業あり/音楽）

- ・メリットは、県外、海外の人にもリアルタイムで見えていただける。好きな場所で好きな様に。アーカイブ機能を使えば、後日何回でも見てもらうことができる。配信した映像をそのまま活動記録やプロモーション映像、販売用DVDのデータとして活用できる。客席だけでなくカメラを意識した演技や演出が、舞台に新しい色を出す。定員数がないため、無限にチケットを販売することができ、収益増に繋がる。

デメリットは、劇場チケットと同じ値段設定がしにくい（配信チケットの方が安いのが一般的）。音楽著作権の問題（例えJASRACに申請済みでも、YouTube使用の場合AIチェックにより途中で切られる可能性がある）。歌や漫才などの定位置構成には向いているが、踊りや芝居など動きがある舞台では技術面とコスト面で素人には難しい（カメラの台数やスイッチャーの技術、動いている人の声や楽器の收音等）。1人分のチケット料金で、実際は何人で見ているかわからない（劇場なら一人一人のチケット収入が明確）。「劇場に足を運ぶ」という手間や意識が薄れると、お客さんの質が下がる恐れがある（テレビやDVDを観る感覚にはなってほしくない）。便利になり新たな可能性が広がる反面、「芸能・エンタメの安売り」にならないよう気を付けなければならない（特に沖縄は”無料”配信が多過ぎる）。「だけどやっぱり生がいい！」それに尽きるし、そうあるべき。（30代/専業/沖縄芸能）

- ・配信には、送信側、受け手側それぞれに問題があり、限界があると思っています。大きな問題としては、音と画面の見せ方。生と同じことを配信でやっても、よほどのことでない限り、画面から飛び出て心に訴えるものにはならないように思います。また、テレビやNetflixやYouTubeやら、家事や仕事など様々な選択肢がありすぎて、その中で選ばれて集中して見てもらうというのも至難の業。アイドルやメジャーアーティストがお金をかけて、良い音・美しい映像で配信

するのが普通になってきているので、素人の（ミュージシャンは演奏はプロでも配信は素人）配信は同じ土俵に立てない。そもそも配信自体に皆飽きてきているのではないかと思います。良い点としては、オンライン講座で全国の人に教えられること。対面では出来ない、口元を大きく見せながら説明するなどが出来るのもよい。（50代/専業/沖縄音楽）

- ・ デジタルネイティブ世代の方が馴染みがあるから、やり方も楽しみ方も理解してる印象。（40代/別に本業あり/音楽）
- ・ 作品や場の匂いは配信では伝わらない。でも交流のツールとして、配信はとても可能性が広がる感じがする。（40代/別に本業あり/アート）
- ・ 世界中へ配信、参加ができる。（50代/別に本業あり/アート）
- ・ メリットはライブが出来ること。将来的に集客が期待されること。地域に限定されてないこと。デメリットは知名度のないミュージシャンにとって、多くの人に見てもらうためには価格をつけにくいこと。（50代/専業/音楽）
- ・ 配信はリアルイベントの代わりにはならないし、全く別のノウハウが必要なので、リアルイベントの延長で考えるのならやらないほうがいい。（40代/専業/音楽）
- ・ 絵画の場合、あくまで実物を買うことで初めて収入になる。よって展覧会や作品画像の閲覧だけで収益を上げることは現状難しい。今後「絵画コンテンツ」ならではのユーザーとの幸せな関係づくりには工夫が必要。（50代/副業あり/アート）
- ・ SNSを使えば誰でも配信できるが、ある程度のレベルの配信を行うには相応の機材、スタッフが必要なことを実感しました。また、視聴側の環境にも依るため、有料配信がまともに視聴できない場合があるのも残念。（40代/別に本業あり/音楽）
- ・ ライブ音楽は演者だけでなく、お客さん、ライブをする場所、すべてで成り立っていると思うので、配信ができることをそのまま比較すると限界がある。ただ配信だからできること、その楽しさを探していけばそれはそれで良いのかもしれない。が、生の音楽を好きで始めた者としては、そこに時間を割こうとは思わない。（40代/専業/音楽）
- ・ コロナ禍の今、遠方で沖縄に来ることが出来ないファンの方にとって、生ライブ配信はとても役に立っていると思います。（50代/専業/音楽）
- ・ デメリットは、お客さんの顔が見えない。マンネリ感。ライブ感の低下によるモチベーションの低下。公演のインスタント化。（30代/副業あり/音楽）
- ・ 自宅で大きな音を出せないなので、定期的に配信するのは厳しい。（40代/専業/沖縄音楽）

- ・Live感は無く、ジャンルによっては面白さが半減する。メリットは遠く離れた場所に住む人に気軽に聞いてもらえること。（20代/副業あり/沖縄音楽）
- ・コロナ禍が落ち着いた後の活動のあり方が課題。（50代/副業あり/音楽・沖縄音楽）
- ・配信は音楽ライブの代用にはなり得ない。他のパフォーミングアーツでは可能性有り。（40代/専業/音楽）
- ・メリットばかりだと思います。ライブハウス、劇場などの機材がそろってきているので、沖縄の映像・音響スタッフの育成に注力すれば、沖縄のアートが世界に届くと思うとワクワクします！（専業/音楽・舞台）
- ・県内における経済のグローバル化が加速し、ますます経済格差がでるだろうと感じている。配信が悪い訳ではないけれども、人気の有無が生計に直結するため、「人気がない・儲からない≒芸術ではない」という考え方が加速しそう。（30代/副業あり/アート）
- ・やっぱり生にこだわりたい。バンドメンバーや技術スタッフさんに、他のイベント出演くらいのギャラが払えるようになれば考えたい。（40代/副業あり/音楽・沖縄音楽）
- ・普段ライブに来れない人が音楽表現を観れるようになり、興味を持ってくれることで生のライブへのアピールになる。県外の人も観れる利点があるが、まだ配信ライブ自体が一般の方や演者にも浸透していない。（40代/副業あり/音楽）
- ・撮影・編集・配信のハードルの高さと、それに見合う効果を感じられないことが課題。（40代/専業/アート）
- ・「無観客だからせめて配信します」といったネガティブな動機ではなく、配信ならではの企画、演奏にチャレンジしたい。（50代/副業あり/音楽）
- ・メリットは、出かけなくても気軽に視聴が可能。デメリットは、音質や映像の調整が難しいこと。（専業/音楽）
- ・音楽ライブに関しては、届く情報の圧縮度（ライブが良い）、配信環境に気を使うのがデメリット。トークイベントなどは逆に良いと思う。また、音楽ライブでもアーカイブで再配信可能になるのは便利だと思います。（30代/副業あり/音楽）
- ・課題は、コミュニケーションのとりづらさ、参加者の偏り、企画進行の難易度。（50代/副業あり/アート）
- ・沖縄民謡をネットが苦手な年配の方に届けるのは大変。いろいろ課題があると思う。（40代/別に本業あり/沖縄音楽）

- ・メリットは、県外の方にも観ていただけるのと、ライブ活動が完全に止まってしまわないで、次への活力にもなる。自分の場合はインスタライブなので、気軽にできるのがよい。デメリットは、音のクオリティ的に有料にするには敷居が高く、無料で行っている所以収入にはつながらない。自分も含め、観る側も無料が当たり前になってしまっている。（40代/副業あり/音楽）
- ・収益面は有観客の公演よりも低いのに、映像の画質や音質などがある程度のものにするには設備投資をしないとならず、有料のコンテンツとして販売するのは難しい事を実感した。（30代/専業/沖縄音楽）
- ・配信によるお客さんとのコミュニケーションの面白さは感じる一方で、ダイレクトに伝わらないので限界も感じる。（40代/副業あり/音楽）
- ・考え中。一緒に色々できる方をまだまだ募集中。（40代/専業/音楽）
- ・コロナ後、表だったライブや公演はほぼしてないですが、リハーサルや楽曲制作はコロナ前と変わりなく継続し、常に音楽活動は続けています。配信はまだ無いですが、今後は色々な事を考えて活動して行きたいと思います。（50代/別に本業あり/音楽）
- ・「生ライブは見に行けないけど、配信ライブは見たい」というお客さんの集客が出来るのがメリット。配信の不具合などのデメリットはありますが、こういう時代にはメリットの方が大きいと感じています。（40代/専業/沖縄音楽）
- ・視聴者が少ない。（50代/専業/音楽）
- ・無観客だと臨場感が無いが、何もしないでいるより音楽を続けている方が、スキルアップにも繋がる。（40代/副業あり/沖縄音楽）
- ・やったことがないのでまだよくわかりません。（60代/別に本業あり/沖縄音楽）
- ・配信とライブでは、音楽的に伝わるものが圧倒的な差があり、配信する側はそれなりの労力を使うが、あまり資金源にはならない。自分が配信を続けるならば、配信ならではの特性と魅力を活かした作品づくりをしていきたい。（40代/専業/音楽）
- ・会場によって配信設備にムラがあり、クオリティの担保が難しい。インディでは有料配信の集客率が乏しく、人件費の確保すらままならないため、継続性が見込めない。配信のプラットフォームサイトのような媒体を設けて沖縄のライブハウスの配信情報を一括して管理できれば、配信の集客率だけではなく広告料等のマネタイズが見込めるのでは。また県外や海外へ沖縄のライブシーンが可視化される機会に繋がると考える。（30代/別に本業あり/音楽）
- ・機材などノウハウを勉強したい。（50代/専業/沖縄芸能）

- ・ 撮影機材の購入費は課題です。レンタル等あったら助かります。（20代/別に本業あり/沖縄音楽）
- ・ 配信する側の知識不足。機材やソフトを学ぶ機会が持てないまま、この状況になってしまった。（40代/専業/司会）
- ・ インターネットに動画をアップすることは以前からしてるのですが、配信イベントとしてやることに関してはあまりメリットや興味を感じていないので、今のところ自主的にやることはないと思っています。他者が企画する配信イベントには参加しています。（40代/別に本業あり/音楽）
- ・ メリットは、感染リスクが少ない、劇場に来なくても鑑賞できる。デメリットは、個人でやるレベルだとクオリティが低くなる。自分で配信ライブを企画するには時間と体力が必要なので、それよりは芸の維持向上に努めたい。（20代/副業あり/沖縄音楽）
- ・ いまは考えられない。（70代/専業/音楽）
- ・ 配信だと何処でも見れるということで、コロナが落ち着いた時に、会場にお客さんが生の音を聞きにきてくれるかが心配。配信と生ライブでのそれぞれの魅力を分けてつukらないといけないと思ってます。メリットは、なかなか行けない離島とかの映像や知られていない情報を配信で伝え、コロナが落ち着いたとき実際に来場するよう、経済的にも持っていきたいと思っています。（30代/専業/沖縄音楽）
- ・ 配信にかかる楽曲の二次使用料が高額で手続きも複雑。（50代/副業あり/音楽）
- ・ 場所・時間に関係なく見てもらうことができるが、マネタイズは難しい。クオリティが機材に依存するところもあるので、クオリティを上げていくのが難しい。（30代/副業あり/音楽）
- ・ 配信発信への可能性は高い。しかし、生の体験という意味では時間、空間、直接的な経験によって得られる感性は半減している。（40代/専業/アート）
- ・ 簡単に収益につながらない。音質等の拘りを維持するのが苦労する。（60代/専業/音楽）
- ・ 舞台は生ものということを痛感した。（50代/専業/舞台）
- ・ いろいろな方に観てもらえるチャンスが多い。（50代/副業あり/音楽）
- ・ 一人でフットワーク軽くできない。（30代/専業/舞台）
- ・ 配信ライブのチケット販売の営業が大変でした。Yahooのpassmarket等諸々試しましたが、満足できるサイトは少ないです。（50代/専業/沖縄音楽）
- ・ 見ていて、クオリティの問題を凄く感じる。（60代/専業/音楽）

- ・未だこれから。（50代/専業/音楽）
- ・配信できることで、より多くの方（普段なら県外や海外からはなかなか足を運べなかったり、暗闇など劇場空間が苦手という方）に観る機会を提供でき、またアーカイブに残っていればいつでも見ることができる便利さはあるが、そのことにより劇場離れに繋がらないかの懸念がある。まずは発信する側が、「生」の舞台芸術と、配信での舞台芸術を混同せず、別物であるという認識をもち、それぞれのメリットをうまく使い分けられるように学んでいく必要があるのではないかと思います。（30代/専業/舞台）
- ・知識や技術的な経験が無いため、不安しかない。（40代/別に本業あり/舞台）
- ・生の舞台のライブ感を感じられないのは残念。だが、遠方のお客さんが配信を通してイベント参加ができるのは良いと感じている。（30代/別に本業あり/舞台）
- ・舞台は観客が生で観る事で成立するものと思っているので、自主での配信公演はする事は無いです。多くの人に観ていただく事が可能なのはメリットになると思います。（40代/別に本業あり/舞台）
- ・配信を始めようにも初期費用がかかりすぎる。配信を有料チケットで購入するお客様もまだまだ少ない。また、世代によっては配信を観る方法がなかったり、わからない。メリットとしては、沖縄から県外、海外に発信できること。（40代/専業/舞台）
- ・配信不具合が起こった時の対処が課題。（40代/専業/音楽）
- ・Live感が無い。（60代/専業/音楽）
- ・配信ライブをすれば多くの方に知っていただけるが、音響その他の根本的な問題で、芸術性はリアルに演奏しなければ伝わらない。（40代/副業あり/音楽）
- ・多くの方の目に留まるのは良い。ただ、配信に慣れてないとクオリティが低い。生で観劇するように、映像でも生を感じられるような工夫が今後の課題。（40代/副業あり/舞台）
- ・収入に繋がらない。（40代/専業/沖縄音楽）
- ・やっぱり生には勝てないと思う。ので、あまり興味は無い。（50代/副業あり/舞台）
- ・これまでライブハウスにきたことがない方が、自分のステージを見るきっかけになった。（40代/別に本業あり/音楽）
- ・メリットは、歌が歌える事。デメリットファンの年齢層が高い為、ネットを使いこなせない方々が多く、配信を見れなかったと多くの問い合わせがあり、対応が凄く大変だった事。自分の場合、配信スタイルでの舞台は難しいと感じました。（40代/専業/沖縄音楽）

- ・県内県外、海外問わずに届けるところができる点がメリット。デメリットは料金を設定（回収）しづらい点。（40代/副業あり/音楽）
- ・メリットは県外等新規ファンの獲得、時間の有効活用。デメリットはIT弱者など年代格差による客離れや、1枚のチケット代で不特定多数が視聴できることなど。（50代/専業/舞台）
- ・映像全般に関する技術力が課題。（50代/専業/舞台）
- ・配信は否定しないし、出演もさせていただきありがたいし、大いにやって良いと思うし、ニーズも感じています。しかし元々、生の音を届けることに意義を感じているため、自分にはあまり向かない。（50代/専業/音楽・沖縄音楽）
- ・コロナ収束後もコンスタントに配信を続けられないなら、始めるメリットが薄い。（40代/専業/音楽）
- ・無料配信が多いので、収入にはなかなか結び付かない。他者が行ってる配信ライブも見たり、私自身が実際配信ライブを行ってみて、やはり生ライブには勝てないと思っていますが、まだコロナの収束が見えないし、配信機材の扱いにも慣れてきたので、音質や画質、画角等のクオリティーをもっと向上し、有料配信にしていきたいと思う。（30代/専業/音楽）
- ・メリットは、コロナ禍でも活動をしていることをアピールでること、有料配信であれば少しの収入が得られること。課題は、配信機材や配信に関わる知識等のスキル。（50代/専業/沖縄音楽）
- ・見てる側の顔が見えないのが不安。（30代/別に本業あり/沖縄芸能）
- ・表現の大事な手段としている繊細な音色や音質の変化等が、マイクを通すと伝わらない。よって本来のパフォーマンスを配信で伝える事は出来ないと考える。（40代/専業/音楽）
- ・配信業者への委託料が高額。（50代/専業/舞台）
- ・配信料金がチケット料金とそこまで変わらない、もしくは高く感じる場合もあるので、観る方にとって観やすい料金になったらいいなと思います。（30代/専業/沖縄音楽）

●パフォーマー（県外）

- ・機材等の充実化、演出の工夫、収入の確保など難しい点がある。（50代/専業/沖縄音楽）
- ・メリットはコロナを気にせず全国から応援できること。ライブと違ってコメントを拾ったりするので、生ライブとは別物という意識がある。あとはWi-Fi環境でうまく演奏が届かなかったり、無料配信だとアーティストへの収入がないので、まだまだ整備が必要だと感じています。（50代/副業あり/音楽）

- ・コンサートや演劇などの舞台モノ（大・小ホールやライブハウスや喫茶店なども含む）は生で鑑賞するのが最高だとは思いますが、ライブ配信は日本以外の国からもアクセスして鑑賞が可能になるので、大きな可能性を秘めていると思います。毎回、主催者は収益化の方法に苦しんでいますね。最近では「ZAIKO」など配信をサポートする会社も出てきていて、利用してみると案外便利だなと感じました。（60代/別に本業あり/音楽・アート）
- ・これまでライブに出向くことができていないエリアのみなさんに視聴してもらえるのはメリットだが、自主企画では収入が少ない。（50代/副業あり/音楽）
- ・メリットは、自分はYouTubeがメインだが、ファンが広がったという手応えはある。デメリットは、最初は物珍しさと支援の気持ちで見られたが、チャンネル数が多くなり競争が激しくなっている。編集に時間と労力がかかるので継続が難しい。動画の質、音質などに課題がある。（40代/専業/沖縄音楽）
- ・全世界からアクセス出来るのが最大の魅力。音や映像のクオリティーはさまざまですが、結局は予定よりも高い機材を揃える必要があると感じています。ただ、視聴者側がまだシステム（チケット購入方法等）に慣れていない。（40代/専業/音楽）
- ・たくさん配信がありすぎて…。（40代/専業/沖縄音楽）
- ・配信しても収入の方法が分からない。（50代/専業/音楽）
- ・配信には、お客様に自宅でライブを楽しんでいただけるという手軽さがありますが、沖縄民謡ライブの場合は沖縄料理店さんと我々演者との間に、コロナ禍以前からの付き合いや信頼関係があり、今後それをどのようにして守り続けてゆくかがとても気にかかっています。またお客様側に「配信ライブに視聴料を支払う」という流れが定着するまでには、時間がかかりそうな気がしています。（50代/専業/音楽）
- ・1年間の配信経験を経て、やっと技術的に安定してきたが、マネタイズの面で補助金頼りだったところがあり、今後補助金が無くなって行った時にきちんと黒字を出していけるかの懸念がある。（30代/専業/沖縄音楽）
- ・どんなにがんばって配信のための準備をしても、回線状況によって演奏のテンポや強弱が崩れたように伝わってしまうことなどがあるため、対面ライブなどと同じクオリティで届けるのは結局難しいと感じています。（40代/専業/沖縄音楽）
- ・お客様の反応がダイレクトに伝わりにくい。（50代/専業/沖縄音楽）
- ・写真や作成画像を出したりして、いろいろ楽しんでもらえる。デメリットは作り込みに時間がかかる。技術習得や編集も時間がかかる。たくさんのイベントやライブはできない。（40代/副業あり/沖縄音楽）
- ・配信イベントを開催するための時間と環境設備が無い。（50代/別に本業あり/沖縄音楽）

- ・遠方でも視聴できるメリットはあるが、パフォーマー側の収入としては微々たるもの。また盛り上がりにくい。(50代/副業あり/音楽)
- ・zoomなどで同時演奏する時にピタリと合うスキルを身につけたい。(50代/専業/音楽)
- ・各地域の人が楽しめる利点はあるが、ライブならではの熱量が伝わりにくい。ライブに近い環境を整えること(例えば会場での演出や音響等)が、経費も含めなかなか見合わない。(40代/専業/音楽)
- ・メリットは海外への発信がしやすいこと。デメリットは、配信を見て実演を見たつもりになってしまう方が多いこと。実際の迫力を知らないままになってしまう。(40代/専業/音楽)
- ・意外と配信ライブは生活の中にはまだ浸透しているとは言えない印象。合法的な課金方法よりも、違法な課金方法による配信の方が視聴してもらいやすいというジレンマがある。(50代/専業/沖縄音楽)
- ・無課金で済まそうとするユーザーが多すぎて稼ぎにならない。(40代/副業あり/音楽)
- ・感染防止になりつつ、表現の幅が広がり収入にも繋がって良い。(50代/副業あり/沖縄音楽)
- ・配信用機材や設備投資にお金がかかる。(50代/兼業/沖縄音楽)
- ・今後は「自分のパフォーマンスはライブでしか表現できない」と頑なに思っていることを改めていかなければならないと考えています。(50代/別に本業あり/沖縄音楽・音楽)

●スタッフ

- ・メリットは多数の方に見てもらえる。課題は課金制度がまだ確立されていない。今後も配信は無くならないと思うので、継続して行く予定。(50代/専業/音響・制作・マネジメント/沖縄)
- ・デメリットとして、PC環境のない高齢者は不向き。登録や支払で個人情報流出を恐れる人が使わない。今後会場に来なくなる。客の満足度が低い。色々なアプリやサイトへ登録が必要。(40代/専業/企画・演出/沖縄)
- ・配信のメリットとしては、観客同士が密や接触しないで安全にイベントへ参加出来ることと、参加する場所を選ばない事。デメリットとしては、観客との接触や反応等が無いので、張り合いが激減する。(50代/専業/音響/沖縄)
- ・知名度があるアーティスト以外はむしろ赤字イベントになる。従って、アーティストにとっても、ライブハウスにとってもメインの収入源としては不安。視聴者も投げ銭制(寄付)に疲弊してきており、興味が薄れてきていると感じる。かといって有料配信では視聴者数が見込めず、イベントとして成立しない。個人のアーティストが広告宣伝目的で行うのはよいが、イベンター、技術

者（カメラマン・音響・照明）、店舗スタッフにとっては、配信イベントは負担となることが多い。

以上のことから、以下を提案します。

1) 配信イベントスタッフ（技術者）に対して技術料を支給→アーティストやイベンター・施設スタッフは、配信技術による金銭的負担が少なくなると思います（赤字が減る）。

2) 県内全域を対象とした配信イベントフェスの開催→話題性があり、知名度の低いアーティストにとっても配信が盛り上がるチャンスになると思います。（20代/別に本業あり/企画・広報/沖縄）

- ・メリットは、会場に来られない遠方のお客様にもライブに参加していただくチャンスがある事。デメリットは、良い機材で撮影しても観る側がスマホなどの簡易な端末だと、良さが半減する事。あと、生ライブだけよりも更に費用と労力がかかるのが負担です。（40代/副業あり/企画・制作・広報・マネジメント/沖縄）
- ・配信数は増えたが、結局見てもらえない。もっと広範囲で配信するための戦略がない。行政支援の事業だと秋にイベントが集中して、映像、スタッフの人材確保が難しい。（40代/専業/企画・広報・マネジメント/沖縄）
- ・ネット配信の環境整備が課題（映像の途切れや、音のバランスでのストレスなど）。（50代/副業あり/音響・スタジオ経営/沖縄）
- ・コンテンツをインターネット等を通じて広範に伝達できるところはメリット。デメリットは、仕事相手とコンテンツ上で出会うだけで、次の仕事の展開に繋がりづらいところ。あと、配信コンテンツに出演などする場合は、平均的に報酬が少ない傾向がある。（40代/副業あり/教育・研究/沖縄）
- ・生のライブのほうが伝わりますが、配信という枠があることで幅が広がる。（40代/専業/企画・照明/沖縄）
- ・品質と集客が課題。（40代/副業あり/イベントサポート/沖縄）
- ・落語の分野では、配信には皆さん飽きてきていると思います。（40代/別に本業あり/企画/沖縄）
- ・配信に飽きてきたというのが率直な気持ちです。配信のメリット、可能性は感じていますが、全てのジャンルに当てはまるとは思いません。（30代/専業/企画・音響/沖縄）
- ・回線トラブル等が起きた際の責任所在が事前に明らかでない。配信をやればやるほどリアルLIVEの価値の高さを痛感。（40代/専業/イベントサポート/県外）
- ・集客が大変。（40代/専業/企画・マネジメント/沖縄）
- ・いつも以上に労力がかかるわりに、金銭的にも精神的にも達成感が得られない。（50代/別に本業あり/企画/沖縄）

- ・どこでも観れる為良いと思うのですが、観客それぞれの方の環境が違うので、音質・画質などバラつきが出てしまう。また、ライブ会場の様な一体感が空気感がつくれない。演者と観客、それぞれの息があって初めて感動があると思う。それを今後、配信でどう創れるかが課題だと思います。（40代/専業/照明/沖縄）
- ・コストがかかるので、手続きが簡易な支援が必要。（50代/専業/企画・制作・演出・マネジメント/沖縄）
- ・オーディエンスの呼吸、表情、反応などを感じていけるLIVE環境は配信と比べられる物では無いと感じます。勿論、映画、ドラマ、中継、PV等は別の芸術表現がありますので配信を否定しているわけではありません。（50代/専業/企画・音響・制作・広報/沖縄）
- ・遠方を巻き込んだコミュニティやネットワーク形成には良いと思う。しかしコンテンツが溢れている中でどう活用するかは、しっかり目的や方法を検討しないと無駄になる可能性も高いと思う。（30代/別に本業あり/企画・広報/沖縄）
- ・専門のプロの業者が少ない。勉強会をしたほうが良い。（60代/専業/音響・制作/沖縄）
- ・映画やYouTubeなど、同じ市場で競合するコンテンツがある中で配信をするのは厳しい。（30代/専業/制作・広報/沖縄）
- ・多くの方に観てもらえるチャンスがある。（50代/副業あり/企画・音響・制作・演出/沖縄）
- ・メリットはどこでも視聴できること、委託コンサートを中止にせず配信にして履行できること。デメリットは配信環境の整備・機材・専門スタッフの手配等に予算がかかること、有料化が難しいこと等。（50代/副業あり/企画・制作・広報・マネジメント/沖縄）
- ・公共ホールやライブハウスなどの会場に、配信するインフラが整っていない。（40代/専業/音響・制作/沖縄）
- ・観客に臨場感のある公演を届けるスタッフ・ノウハウ・機材等の不足。（40代/副業あり/企画・制作・演出/沖縄）
- ・配信を始めるに当たっての機材費をどうするか、また、収益の回収をどうするかが課題。（50代/専業/制作/県外）
- ・収入に結び付く手段としての理解が足りていない。（60代/別に本業あり/企画・マネジメント/沖縄）
- ・機材が追いつかない。（40代/副業あり/企画・制作・広報/沖縄）

- ・ネットの繋がる環境であれば、世界中に同時配信できるところがメリット。（40代/副業あり/音響・制作/沖縄）
- ・生身の舞台芸術芸能のライブ感に限界がある。（60代/副業あり/企画・制作・音響・照明/沖縄）
- ・オーディエンスは気楽に楽しめるが、生ライブに勝るものなし！（60代/副業あり/企画・制作・音響・照明/県外）
- ・配信のメリットは人が集まらないので、コロナに感染する心配はない。デメリットはリアル開催じゃないので、面白くない。現時点での課題は、リアルと配信のハイブリッド開催において、どのような比重で（リアルをどこまで引き上げて）何をするかが難しい。今後もしばらくは似たような状況だと思うので、ハイブリッド開催の仕方に工夫を凝らす必要がある。（40代/専業/企画・総務/作・広報/沖縄）
- ・広報力が小さいため、興味がある方にしか情報が届かない。（20代/別に本業あり/企画・広報/沖縄）
- ・自分の活動はリアルがメインだけに、配信で行うコンテンツ作りの知恵がない。（50代/副業あり/企画・演出・広報・マネジメント/沖縄）
- ・意外と通信環境に左右されやすいので、そこをしっかりと対処できるスキルを上げたい。（60代/副業あり/企画・制作・演出・広報・マネジメント/沖縄）
- ・違う県、国の人にも見てもらえる反面、お客さんとの臨場感が味わえない。（40代/副業あり/企画・マネジメント/沖縄）
- ・メリットはキャパシティの問題が無いこと。端末さえあれば気軽に視聴可能。デメリットは、継続する上でのマンネリ感、コスト回収、視聴者の配信視聴（インターネット）への不慣れ。（40代/専業/企画・制作・演出・広報・マネジメント/沖縄）
- ・配信に必要な環境（ハード面や通信）が整っていないと、有料イベントがしにくい。何かトラブルがあった場合の払い戻しや保証問題が出てくると、心労も疲労もあってキツくなるのでは。そこさえクリアできれば、配信は視聴者の場所を選ばないので広がり生まれる。配信を行うようになって視聴者から言われるのは「客を入れてのイベントに戻っても、配信は続けてほしい」という声です。（40代/専業/企画・制作・演出/沖縄）
- ・音楽演奏はリアル体験が一番なので、その臨場感を配信でどう伝えられるか、また有料配信の場合のメリットをどう生み出せるかが肝心だと思う。（30代/別に本業あり/企画/沖縄）

●イベント施設

- ・課題は、足回りの安定性確保、機材のグレードアップ、配信演出・企画の練りこみ、課金水準の検討。（60代/公共ホール代表/沖縄）

- ・ メリットは無観客でのライブ配信ができること。デメリットは（主催者側の責任もあるが）採算性や、配信または視聴までの操作の複雑性など。また、緊急事態宣言中のバンドのリハが困難。何度かの休業延長などで配信日程が延期になったりして、計画しづらい。（50代/ライブハウス経営/沖縄）
- ・ 配信を行うことで、店がまだ頑張ってることをお知らせできる。配信を通じて、アーティストのファンや店のファンとつながることができた。お互い頑張ろう的な横のつながりの維持。（60代/飲食店経営/沖縄）
- ・ 労力がかかりかかる一方、経済的にも精神的にも達成感に乏しい。（50代/飲食店経営/沖縄）
- ・ 配信するためのハード（機材）は揃ったが、ソフト（パソコンの知識等）が課題。（50代/飲食店/県外）
- ・ 機材はある程度揃ったが、技術人材が乏しい。（40代/ライブハウス代表/沖縄）
- ・ 配信では、人件費のコストに対し収益が足りず、結果赤字となる。（40代/ライブハウス経営/沖縄）
- ・ 配信そのものが飽きられている感じもするが、そこは配信側の工夫次第かなあと思っています。（40代/飲食店経営/県外）
- ・ 機器導入費用と配信収入のバランスが取れないのではないかという懸念がある。（50代/飲食店経営/沖縄）
- ・ 多くの方に観てもらえるチャンスがある。（50代/ライブハウス経営/沖縄）
- ・ 店の雰囲気は多数の方に伝えるのにはとても良いと思います。利益はあまり上がりませんが。（50代/ライブハウス経営/沖縄）
- ・ 沖縄からの発信でも、全国の視聴者がターゲットになるメリットを感じた。コンテンツ次第で全国を相手に勝負ができる。しかしライブ感はやはりリアルにはかなわない。（40代/観光施設/沖縄）
- ・ 設備として提供している回線がないため、今後劇場としてどこまで配信を提供できるのか、よく検討する必要がある。（30代/公共ホールスタッフ/沖縄）
- ・ 配信はネット環境があれば、どこにいても誰でも手軽に参加できるメリットがありますが、慣れてくるとライブと録画（録音）の違いがわからなくなってくる（マヒしてくる？）気がします。同じ会場にいたら共有できる空気感を、ライブ配信でどう伝えるか、悩みどころです。（40代/博物館スタッフ/県外）

- ・ 当店の場合、当店で飲食してもらいながら音楽を楽しむスタイルであり、配信は馴染まない。
(50代/飲食店/県外)
- ・ 施設には配信機材等が整備されていないため、主催者側での準備となり、主催者側への負担が大きい。また、施設自体に常時接続の回線がなく、主催者側でその都度インターネットを使用できるように業者を入れていただかなくてはならない。今後は、機材、配信環境などの整備を行っていかねばならないが、資金面で厳しいところがある。劇場の入場者の制限を設けているので、主催者側が配信を行えば、入場者が満席でもそれ以上に収入になるメリットはあると思いますが、配信視聴を購入する人数と、配信の為に業者を入れる金額を差し引いたときに収益が出るのかどうか、そこは主催者に聞いていないためわかりません。(40代/公共ホールスタッフ/沖縄)
- ・ 配信はリアルのお客様とは対応の仕方や必要なスキルが違うため、全スタッフへの業務周知が大変だった事がデメリット。メリットは、今後も継続できるオンライン商品が出来たことで、リアルのお客様からの収益に追加してオンライン商品の収益が期待できること。(30代/観光施設スタッフ/沖縄)
- ・ ギャラリーで配信を行うメリットは、より多くの方々へ周知が可能であること。デメリットは、絵画作品などの実際の色彩を届けられないこと。現時点の課題は、編集作業の力不足で他者に頼らないといけないこと。今後は作品が生まれる過程をインタビュー形式で収録し、作者の想いを伝えると同時に、ショップページへの誘導をしていきたい。(50代/ギャラリー経営/沖縄)
- ・ 配信ライブでは酒類の売り上げが確保できないため、売り上げを立てるための事業としては厳しい。(50代/飲食店経営/沖縄)
- ・ メリットはいつでも視聴可能なこと、キャパシティ問題が無いこと。デメリットは臨場感不足、コスト回収、視聴者側ネット回線環境による配信品質低下など。(40代/飲食店経営/沖縄)
- ・ 通信環境の改善、その他照明等の機材の確保が課題。(20代/イベントスペースのある店舗代表/沖縄)
- ・ 無観客であっても外に音が聞こえる為、近所の店が皆休業している中では、開催が難しいです。(40代/飲食店経営/沖縄)
- ・ 配信だけでは収支バランスが取れないが、観客を入れると出演者は2方向（配信視聴者と現場の観客）に対してのパフォーマンスになるので、焦点が定まりにくい。(40代/公共ホール代表/沖縄)

■お問合せ先

NPO法人 沖縄イベント情報ネットワーク・筈柄暦編集室
担当：萩野（はぎの） 090-6857-7800 info@oein.jp